

おこっぺ



町の花ハマナス



町のホナナカマド

# 議会だより

第160号

令和2年8月14日

発行／☎098-1692紋別郡興部町旭町興部町議会 TEL (0158) 82-2135 編集／議会広報特別委員会  
FAX (0158) 82-2990



空手少年団（日本空手協会）

第2回町議会定例会…… P2～4・P6～7

町政ここが聞きたい…………… P5

臨時会報告・議員活動報告 …… P8

山川議長自治功勞表彰受賞、町民アンケートの実施について他 … P9

議会の動き・編集後記 …… P10

# 令和2年第2回 町議会定例会のあらまし

令和2年第2回定例会は、6月12日(金)開会され、町長の行政報告、承認1件、報告1件、議案8件、同意10件、発議3件、計23案件が審議されました。

## 町長行政報告

### 新型コロナウイルス感染症の対策等

国内にまん延し終息の出口が見えない新型コロナウイルス感染症は、6月9日現在、国内で1万7千217人、道内で1千115人、管内59人の感染者が確認されています。国は4月7日に急速なまん延状況を鑑みて東京都を含む7都府県に対し緊急事態宣言を发出、4月16日には対象地域を全都道府県に拡大し、不要不急の外出の自粛要請や三密の回避を徹底、飲食店等の休業要請等により、感染の拡大防止の強化を図ってきたところです。

当町においても国の緊急事態宣言を受け、4月8日に興部町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、5月25日に緊急事態宣言が解除されるまでの間、感染予防対策等について検討・実施してきました。具

体的には、町民一人当たり5枚のマスク配布、経済支援として、プレミアム付

き商品券(プレミアム率40%)の販売及び子育て支援対策商品券(一人当たり3万円分)の配布、料飲店等の上下水道料の一定期間の免除、そして今議会に補正予算を計上しますが、北海道からの休業要請等の対象となり20%以上の売上が減少した町内事業者に対する給付金を交付するとともに、感染防止策を講じている町内事業者に対して助成金を交付するため提案するものです。

なお、緊急事態宣言の解除により、4月20日の午後から臨時休校とし、登校日を設けながら行っております。小中学校の授業については、6月1日から通常の授業を再開しました。また、社会教育施設等については、5月7日から屋外体育施設を、5月28日からは中央公民館などの屋内施設を一部制限つきですが、利

用を再開したところ  
です。

また、国が実施します特別定額給付金(二人当たり10万円)の給付については、5月1日付けで給付に係る補正予算の専決処分を行い、5月15日に全世帯に申請書類を郵送し、5月18日より郵送及びオンラインによる申請受付を開始、25日から指定口座への振込みを行っております。申請状況は(6月9日現在)については、対象世帯1千828世帯(3千783人)中、1千721世帯(3千620人)が申請済みで、申請率は94・1%です。なお、給付金の申請期限は8月18日(火)迄となっています。

町内では幸いにも感染者が発生していませんが、言うまでもなく新型コロナウイルスによる日常生活への影響は非常に大きく「咳エチケット」や「三密の回



プレミアム付商品券の販売

避」など、我々の生活スタイルも感染を予防する取組みと行動が求められていますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。町としましては新型コロナウイルスによる経済への影響が今後も続くことを想定し、引き続き影響が大きい町内事業所や個人事業主等への支援をはじめ、感染しない、させないための対策等を長期的な視点で検討し実施していきたいと考えます。

### 教育関係

興部高等学校への新入学生徒については、入学試験受験者16名全員が合格し、入学したところです。今後



興部高等学校入学式

も興部高等学校校間口確保対策協議会及び、西紋地区教育文化振興会が中心となり、継続した支援を行います。

### 農作物の状況

本年の1番牧草は、気温が平年より低く推移しているものの、適度な降雨に恵まれたこともあり、生育は平年並みとなっています。

また、飼料用トウモロコシにつきましては、5月下旬からの気温の上昇により発芽が順調に進み、平年並みの生育状況となっています。



牧草の刈取り

### 生乳生産

今年度の計画乳量は、5万1千271tで、5月末現在の生産乳量は、昨年同期で5・3%の増、計画乳量対比では5・5%上回る、2万6千364tとなっています。

また、北オホーツク農業協同組合では、新型コロナウイルスの影響により牛乳のほか乳製品の消費が低迷

していることから、地域での消費を促進するために、病院の入院患者や介護施設等の利用者及び、施設の従事者に対しまして「飲むヨーグルト」を1ヶ月間におたつてご提供いただき、大変感謝しているところであります。この場を借りてお礼を申し上げます。

北オホーツク農協から飲むヨーグルトの提供



飲むヨーグルトを美味しくいただきました

## 漁業生産の状況

本年度の水揚計画数量は、前年計画比30%増の2万2千187tで、毛ガニ漁は昨年対比57%減の26t、さけ定置網漁は6%減の1千500tです。

ホタテ漁は前年計画に対して37%増の1万8千600tの計画であり、4月27日には沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会のご厚意により、今年もホタテの無料配布が行われたところです。

5月末現在の水揚げ量は、ホタテ漁では前年同期比10%減の4千10t、毛ガニ漁では17%減の10tで、昨年に続き今年も大不漁となっているため、今後の資源確保についても心配されているところ です。

ホタテの稚貝放流については、4月15日からA海区に2億3千60万粒の放流を計画しており、地方産については、6月2日に放流を終え、地元沙留産について



沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会からホタテの無料配布

は、5月1日から放流を始め、6月7日に終了しています。また、6月1日よりホタテ漁の本操業が開始されたところです。

水産物についても新型コロナウイルスの影響は大きく、国内消費の低迷や国外

への輸出制限などにより、魚価は大幅に下落していることから、今後は漁業経営の回復に向けて、国・道の支援策等を踏まえ、関係機関と協力し取り組んでいきます。



南1条道路改良舗装工事

## 建設工事の発注状況

6月1日現在で「土木・水道工事50%」、「建築工事53%」となっています。

なお、残余の工事につきましても準備が整い次第、随時発注していきます。

主役はあなたです！

# 議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は9月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ

# 町政ここが聞きたい!!

**問**

国保病院の新型コロナウイルス等感染者の外来受診体制等について 鈴木精一 議員

**答**

第一次から第三次までの病院体制の構築について管内の行政と力を合わせ発症に即応できるように国保病院がその一翼を担っていく 裕 一寿町長



**鈴木議員**

これから秋冬に向かい、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が危惧されている。病院に行けない高齢者が発熱した場合の訪問診療や救急車要請など国保病院の受診体制と広域紋別病院との連携についてお聞きしたい。

**裕町長**

国保病院の外来診療については完全な隔離をする、或いは電話での受診をして頂く。発熱で来院された方は玄関ホールで検温し、疑いある方は救急玄関から入り、検診室で医師の診察を受けることでロビーにいる方との接触を防止。そこで、新型コロナウイルス感染の疑いがあれば、広域紋別病院へ送る形。新型コロナウイルスに感染して

いた場合は、保健所からの指示が基本だが、遠紋地区・西紋地区では第二次医療機関として、広域紋別病院と遠軽厚生病院を中心に連携を取って対策をしている。

自宅で動けない場合については、基本的に往診しておらず、訪問診療は特定の方のみの対応ということであり、救急車での対応となる。この場合、一端国保病院で対応するが、普段から広域紋別病院を受診している場合は、直送することもある。

**鈴木議員**

様々なパターンで患者が来院することが想定されるので、町民が混乱しないようQ&Aにして、紙媒体やホームページ等で公表願いたい。

次に、厚労省は高齢者のインフルエンザは重症化することがあり、ワクチン接種が有効としている。当町では予防接種法に基づき、重症化し易い65歳以上の方等に、健康保険適用外であるため、町の助成により一回千円の自己負担で実施している。助成対象者の接種率は約半数と低調です。

インフルエンザと新型コロナの症状は似ており、流行時期も重なる予想。ワクチン接種がインフルエンザの流行を最小化し、新型コロナウイルスの感染者を選別することが容易になるとの知見がある。地元の産業や住民の健康を守り、医療崩壊を防ぐためにインフルエンザワクチンの接種率向上の広報活動の拡充、費用の無料化や対象者の拡大等の施策を検討すべきと思うが。

**裕町長**

医師会から鼻に綿棒を挿入するインフルエンザの検査を控えるようにとの指示がある中で、第一次の医療を担う国保病院として、秋口から流行するであろうインフルエンザにも対応すべく、安全に検査を行えるよう、その方法について国保病院で検討させており、今後周知したい。

インフルエンザワクチンについては、当町の高齢者の接種率は50%で、1千300人から1千400人分のワクチンしか手に入らない状況にある。国と道及び製薬会社との話し合いでのワ

クチン割当てとなっており、増やすことは難しく、高齢者全員が接種することもできない状況にある。一方、道庁保健福祉部の情報によると、ワクチン増産の話があるようで、全町民に接種できるだけの数量を確保することに努めたい。

新型コロナウイルスについて、道庁としては振興局管内の北見日赤病院や北見道立病院といった三次病院の近くに、軽症者の入院施設として100床程度のホテルを貸切る対応を進めている。三次病院でも重篤の患者は、医師不足により旭川市に運ぶ場合もある。軽症者を隔離するホテルにおいても、医師・看護師が必要であり、それらの体制づくりについて現在調整中であり、決まり次第周知したい。



国保病院の玄関ホール

## 専決処分を承認した案件

令和2年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第2号)

補正額は3億8千790万円を追加し、歳入歳出それぞれ46億8千223万円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、特別定額給付金給付事業及び子育て世帯臨時特別給付金給付事業実施に伴う委託料、負担金・補助及び交付金等の増額。

## 一般会計補正予算(第3号)

補正額は、7千112万円を追加し、歳入歳出それぞれ47億5千335万円とし、原案どおり可決した。

## 歳出の主なもの

○新型コロナウイルス感染症対策事業  
4千19万円増

○児童用パソコン等更新事業  
1千387万円増

○生徒用パソコン等更新事業  
690万円増

○栄町職員住宅改修工事請負費  
600万円増

○商工会振興補助事業  
114万円増

## 特別会計等補正予算

特別会計等2会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①令和2年度興部町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額は、630万円を追加し、総額3億3千75万円とした。

補正内容は、居宅介護サービス計画給付費の増額。  
②令和2年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額は、6千300万円を追加し、総額3億1千176万円とした。

補正内容は、豊野沙留間道路配水管新設工事請負費及び工事に伴う実施設計測量業務委託料の増額。

## 改正された条例

①興部町税条例等の一部を改正する条例

②興部町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

③興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## 報告された案件

○令和元年度興部町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

## その他議決された案件

○財産の取得

①じん芥収集車の購入  
取得価格  
1千573万円

契約の相手方  
東北海道いすゞ自動車

株式会社紋別営業所

②光伝送装置・無停電電源装置の購入  
取得価格  
3千877万5千円

契約の相手方  
株式会社つうけん

アドバンスシステムズ

## 興部町農業委員会委員の任命について

任期満了に伴い、10名の任命に同意した。

・永井 久氏 ・松村和一氏  
・十河信幸氏 ・永田 貢氏  
・三宅雅弘氏 ・長谷川典章氏  
・菅井裕昭氏 ・小浜勝廣氏  
・河原光義氏 ・山本敏幸氏

## 意見書の採択

○2021年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 小泉 優子議員  
賛成者 前田 義雄議員  
賛成者 佐藤 吉春議員  
賛成者 矢野 幸三議員

・社会保障、防災、環境対策、地域交通対策、人口減少対策、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これらに柔軟に対応し得る地方一般財源総額の確保を図る。また、子育て、地域医療の確保、介護や児童

虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障関連予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと等を求める意見書を提出する。

○「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員

の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書  
提出者 前田 義雄議員  
賛成者 小泉 優子議員  
賛成者 佐藤 吉春議員  
賛成者 矢野 幸三議員

・義務教育費国庫負担金制度の堅持と負担率を1/2に復元し、「30人以下学級」の早期実現に向けて、小学校1年生から中学校3年生の学級編成標準を順次改定すること。また、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するために、義務標準

## 補正予算に対する質疑応答

# GIGAスクール構想について

**問** 将来の学習指導の強化のため、1人1台端末の実現を図ることは大変良いことだと思う。ICT（情報通信技術）を活用するには専門的知識が必要となるが、現在の教員の体制で、GIGAスクールやICTの活用ができるのか。

**答** 現在のICTの活用では、新たな教員を配置する考えはない。現在配置されている教員で、ICTに関連した勉強を行っていく。

**問** 町内一円に光ファイバー網が整備されているが、各家庭にまで引き込まれているとは限らないと思う。そのような場合にかかる費用はどのように考えているか。

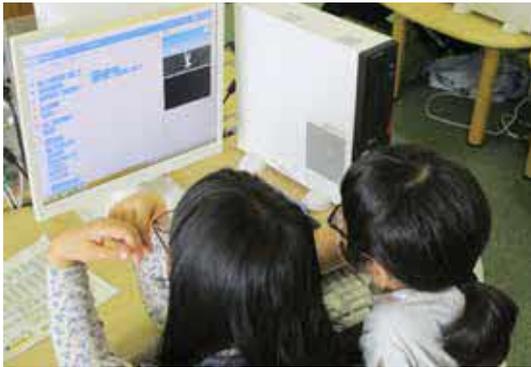
**答** 教育委員会で、現在小中学生のいる世帯に対し、インターネット環境の保有状況について調査した結果、約50世帯がインターネット環境を保有していなかった。今回の補正にて、モバイルWifiルーターを購入することを考えている。通信費については、今後検討していきたい。

**問** 国は2年前の2018から2022年までの高度ICT化に向けた環境整備5ヶ年計画を進めている。今回新型コロナウイルスの関係で前倒して実施する形に至ったが、当町における整備済みのタブレットをみると、かなり貧弱な整備状況になっている。今後の在り方を含め、教育現場をしっかりとサポートして行ってほしい。今回は、ハード面での入札執行がされると思うが、故障時のアフターフォローに対応できる業者の選定など、最初の一步でつまづかないよう進めてほしい。

**答** ICTの整備は、毎年度若干の整備をしていたが、GIGAスクール構想の制度を活用し、全ての学校で1人1台端末の整備を計画したもの。今後のアフターフォローは、まずは物品の購入、端末の学校のインターネット回線への接続、その後、保守管理の委託もしていくように考えている。

### 【GIGAスクール構想とは】

児童生徒向けの1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。



現在のICTの様子

法改正を伴う計画的な教職員定数改善の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため必要な予算の確保・拡充を図ること等を求める意見書を提出する。

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書提出者 鈴木 精一議員  
賛成者 阿部 昭一議員  
賛成者 竹内 清議員  
賛成者 藤渡 昭博議員  
・森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定を図るための財源確保。更に森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること等を求める意見書を提出する。

# 臨時会 報 告

令和2年第3回町議会臨時会は、6月26日(金)に開会され議案1件が審議されました。

## 議決された案件

- 財産の取得  
小学校タブレット機器等  
一式の購入  
取得価格  
1千430万円
- 契約の相手方  
株式会社ソーゴ  
興部支店



# 議員活動報告

## 議会全員協議会

議長 山川 孝義

6月1日、6月26日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

### 6月1日

○専決処分した案件について

- ・子育て世帯臨時特別交付金事業
- ・特別定額給付金給付事業

○地方創生臨時交付金について

○GIGAスクール構想の実現に向けた町の対応について

○興部町国民健康保険税条例の一部改正について

○居宅介護サービス計画費収入の過誤請求について

○「興部町新型コロナウイルス感染症対応経営支援給付金事業」について

○「興部町新型コロナウイルス感染症対応衛生対策支援

助成金事業」について

○「(仮称)興部町新型コロナウイルス感染症対応資金利子等補給事業」について

○配水管新設事業(豊野沙留間道路配水管新設工事)について

### 6月26日

○小中学校における感染症対策について

○夏まつり実行委員会補助金の使途(花火打上げ)について

○新型コロナウイルス感染症対策の実施状況について

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(2次補正)交付限度額の通知について

## 議会運営委員会

委員長 竹内 清

6月1日、6月9日、6月26日、委員会を開催し次

の事項について審議しました。

### 6月1日

○令和2年第2回議会定例会について

### 6月9日

○令和2年第2回議会定例会について

○令和2年度議会報告会(意見交換会)について

### 6月26日

○令和2年第3回議会臨時会について

## 議会改革特別委員会

委員長 佐藤 吉春

6月1日、6月12日、6月26日、7月22日、委員会を開催し次の事項について協議しました。

### 6月1日

○なり手不足対策協議事項課題検討項目(1)定数について

○次回以降の課題検討項目について

○アンケート調査について

### 6月12日

○なり手不足対策協議事項

課題検討項目(2)議員報酬について

○次回以降の課題検討項目について

○アンケート調査について

### 6月26日

○なり手不足対策協議事項課題検討項目(3)年金制度について

○次回以降の課題検討項目について

○アンケート調査について

### 7月22日

○なり手不足対策協議事項課題検討項目(4)兼業(請負)禁止について・(5)兼職禁止について

○アンケート調査について



議会運営委員会

## 山川議長が 北海道町村議会議長会 自治功労表彰を受賞

このたび、山川議長が、7年以上町議会議長として勤続されたことにより、北海道町村議会議長会会長より自治功労表彰がなされ、第2回町議会定例会開会前に佐藤副議長から表彰状の伝達が行われました。



世界初

## 家畜ふん尿由来バイオガスからメタノール製造！ 公開実験を見学

7月15日、農業科学研究センターにおいて、メタノールとギ酸製造の公開実験が行われ、興部町議会からは、山川議長をはじめ、6名の議員が見学会に出席しました。

この日行われた公開実験は、家畜ふん尿由来のバイオガスからメタノール・ギ酸の製造に世界で初めて成功したもので、興部町と大阪大学で昨年6月の連携協定を締結後、興部北興バイオガスプラント及び農業科学研究センターにて、協議・試験を重ねてきました。

今後は、量産化技術の開発へ向けて進められ、本技術の実証により、資源・エネルギーの地産地消につながるとともに、持続可能なまちづくりをさらに推進させるものです。



## 興部町議会に関する 町民アンケート調査の実施について

興部町では、平成30年第3回議会定例会において「興部町議会基本条例」が制定されました。しかしながら、平成31年4月の町議会議員選挙においては、議員定数10人に対し9人の立候補となり、結果として1人の欠員となっている状況です。

このため町議会では、議会改革特別委員会を設置し、特に議員のなり手不足の検証や議会の活性化について検討していくことといたしました。

町民の皆様が、議会や議会制度をどのように捉え、また、今後、どのような町づくりを望んでいるのか、これまでの議会活動や今後の議会のあるべき姿について分析するとともに、議員のなり手不足の検証及び議会の活性化を図るため『興部町議会に関する町民アンケート調査』を実施することといたしました。

このアンケート調査は、議会改革を進める上での参考資料とするため、幅広く町民の皆様の町議会に関するご意見を把握することを目的に行うものですので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートの回答用紙は、各自治会様のご協力をいただき、班長様を通じて、8月14日(金)に町の広報物と一緒に、各世帯に配布させていただきます。ご回答いただいたアンケート用紙は、同封いたします返信用封筒に入れ、9月4日(金)までに、郵便ポストへご投函ください。アンケート用紙が、お手元に届かない世帯の方がおりましたら、興部町議会事務局 (TEL 8 2-2 1 3 5) まで、ご連絡ください。



## 議会の動き

令和2年5月15日以降	
6月1日	議会全員協議会 第4回議会改革特別委員会
9日	議会運営委員会 第2回町議定会 例会
12日	議会広報特別委員会
26日	第5回議会改革特別委員会 議会運営委員会 第3回町議会臨時会
29日	紋別地区消防組合議会臨時会
7月10日	遠紋地区市町村議会事務局長及び事務局職員合同研修会
13日	西紋地区教育文化振興会総会
14日	戦没者追悼式
16日	さるる海水浴場「海上安全祈願祭」
17日	オホーツク圏活性化期成会建設経済専門委員会
22日	第7回議会改革特別委員会
28日	議会広報特別委員会 オホーツク町村議会事務局長研修会
31日	議会広報特別委員会
8月3日	広域紋別病院企業団第1回臨時会

## 編集後記

コロナ禍の中、オリンピックをはじめ、イベントの殆どが中止あるいは延期となる寂しい夏を迎えていることと思えます。我々の日常を穏やかに過ごすために役立つ、最も重要な脳のメカニズムの一つに体内時計があります。この体内時計のおかげで、一日の周期、朝夜の繰り返しに合わせて、私たちの体調や行動は連動できています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の自粛生活で、私たちは様々な欲求を抑え込んで我慢の生活が続く、今までは生活のリズムが大きく変わりました。

この体内時計にも微妙に影響を及ぼしています。乱れてくると様々な病気の原因ともなります。人と人との距離をとること、マスクの着用、

換気を十分にすると、不要不急の外出の自粛、三つの密を避けるなど、これらの対策を一日も早く新しい生活リズムとして取り入れることが必要です。

ワクチンや治療薬の開発も進んでいます。ウイルスがいなくなるわけではなく、ウイルスとうまく共生しながら日常生活を取り戻していかなくてはなりません。

催えるよう、一丸となつて取り組んでいきましょう。  
(記・広報特別委員会  
副委員長 藤渡 昭博)

広報委員長	鈴木 精一
副委員長	藤渡 昭博
委員	佐藤 吉春
委員	阿部 昭一
委員	竹内 清
議会事務局長	須田 寿史
議会事務局主事	佐藤 麗華

